

指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム こだなか	評価対象年度	令和元年度(平成31年度)
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 白山福祉会 ・代表者名 理事長 湖山 泰成 ・住所 川崎市麻生区白山1丁目1番3号	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	<p>①特別養護老人ホーム事業(入所定員50人) 在籍者数 47人(令和2年3月31日現在:入院等不在者を含む)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>介護度</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table>	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	利用者数	0	2	15	15	15	0	47											
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計																				
	利用者数	0	2	15	15	15	0	47																				
	<p>②通所介護事業(通所定員 15人/日) 年間延べ利用者数 2,790人:定員に対する稼働率72%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>221</td> <td>235</td> <td>235</td> <td>256</td> <td>234</td> <td>210</td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>249</td> <td>257</td> <td>250</td> <td>212</td> <td>202</td> <td>229</td> </tr> </tbody> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	221	235	235	256	234	210		10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数	249	257	250	212	202
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																						
延べ利用者数	221	235	235	256	234	210																						
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																						
延べ利用者数	249	257	250	212	202	229																						
<p>③短期入所事業(定員 2人) 年間延べ利用者数 1,101人:稼働率150.8%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>69</td> <td>91</td> <td>104</td> <td>106</td> <td>104</td> <td>56</td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>73</td> <td>51</td> <td>57</td> <td>150</td> <td>128</td> <td>112</td> </tr> </tbody> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	69	91	104	106	104	56		10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数	73	51	57	150	128	112
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																						
延べ利用者数	69	91	104	106	104	56																						
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																						
延べ利用者数	73	51	57	150	128	112																						
<p>④居宅介護支援事業 給付管理者数(令和2年3月分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>介護度</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管理者数</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table>	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	管理者数	12	11	3	4	1	0	31												
介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計																					
管理者数	12	11	3	4	1	0	31																					
収支実績	<p>①特別養護老人ホーム事業 (収入)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>介護料収入</td> <td>160,200,352</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>37,975,449</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>6,267,899</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>204,443,700</td> </tr> </tbody> </table>	介護料収入	160,200,352	利用者等利用料収入	37,975,449	その他の事業収入	6,267,899	合計	204,443,700	<p>(支出) (単位:円)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>人件費</td> <td>146,631,501</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>36,325,870</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>19,874,205</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>202,831,576</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>1,612,124</td> </tr> </tbody> </table>	人件費	146,631,501	事業費	36,325,870	事務費	19,874,205	合計	202,831,576	(収支差額)	1,612,124								
	介護料収入	160,200,352																										
	利用者等利用料収入	37,975,449																										
	その他の事業収入	6,267,899																										
合計	204,443,700																											
人件費	146,631,501																											
事業費	36,325,870																											
事務費	19,874,205																											
合計	202,831,576																											
(収支差額)	1,612,124																											
<p>②通所介護事業 (収入)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>介護料収入</td> <td>28,241,596</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>4,215,797</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>60,381</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>32,517,774</td> </tr> </tbody> </table>	介護料収入	28,241,596	利用者等利用料収入	4,215,797	その他の事業収入	60,381	合計	32,517,774	<p>(支出)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>人件費</td> <td>17,160,046</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>5,545,759</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>3,586,233</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26,292,038</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>6,225,736</td> </tr> </tbody> </table>	人件費	17,160,046	事業費	5,545,759	事務費	3,586,233	合計	26,292,038	(収支差額)	6,225,736									
介護料収入	28,241,596																											
利用者等利用料収入	4,215,797																											
その他の事業収入	60,381																											
合計	32,517,774																											
人件費	17,160,046																											
事業費	5,545,759																											
事務費	3,586,233																											
合計	26,292,038																											
(収支差額)	6,225,736																											
<p>③短期入所事業 (収入)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>介護料収入</td> <td>8,681,891</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>2,421,345</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>28,059</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,131,295</td> </tr> </tbody> </table>	介護料収入	8,681,891	利用者等利用料収入	2,421,345	その他の事業収入	28,059	合計	11,131,295	<p>(支出)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>人件費</td> <td>3,116,725</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>2,033,859</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>1,116,003</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6,266,587</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>4,864,708</td> </tr> </tbody> </table>	人件費	3,116,725	事業費	2,033,859	事務費	1,116,003	合計	6,266,587	(収支差額)	4,864,708									
介護料収入	8,681,891																											
利用者等利用料収入	2,421,345																											
その他の事業収入	28,059																											
合計	11,131,295																											
人件費	3,116,725																											
事業費	2,033,859																											
事務費	1,116,003																											
合計	6,266,587																											
(収支差額)	4,864,708																											
<p>④居宅介護支援事業 (収入)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>介護料収入</td> <td>7,848,934</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>49,569</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,898,503</td> </tr> </tbody> </table>	介護料収入	7,848,934	利用者等利用料収入	0	その他の事業収入	49,569	合計	7,898,503	<p>(支出)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>人件費</td> <td>5,976,804</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>121,961</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>627,064</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6,725,829</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>1,172,674</td> </tr> </tbody> </table>	人件費	5,976,804	事業費	121,961	事務費	627,064	合計	6,725,829	(収支差額)	1,172,674									
介護料収入	7,848,934																											
利用者等利用料収入	0																											
その他の事業収入	49,569																											
合計	7,898,503																											
人件費	5,976,804																											
事業費	121,961																											
事務費	627,064																											
合計	6,725,829																											
(収支差額)	1,172,674																											
<p>(収入)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>介護料収入</td> <td>204,972,773</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>44,612,591</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>6,405,908</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>255,991,272</td> </tr> </tbody> </table>	介護料収入	204,972,773	利用者等利用料収入	44,612,591	その他の事業収入	6,405,908	合計	255,991,272	<p>(支出)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>人件費</td> <td>172,885,076</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>44,027,449</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>25,203,505</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>242,116,030</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>13,875,242</td> </tr> </tbody> </table>	人件費	172,885,076	事業費	44,027,449	事務費	25,203,505	合計	242,116,030	(収支差額)	13,875,242									
介護料収入	204,972,773																											
利用者等利用料収入	44,612,591																											
その他の事業収入	6,405,908																											
合計	255,991,272																											
人件費	172,885,076																											
事業費	44,027,449																											
事務費	25,203,505																											
合計	242,116,030																											
(収支差額)	13,875,242																											
サービス向上の取組	<p>○経費削減の取組みとして昨年度から引き続き排泄対応の見直しを行うことで、経費削減と共に皮膚トラブルも減少し、利用者及び職員の介護負担軽減に繋がっており、成果があらわれている。 ○今までの事故を教訓に、職員教育を含め、事故防止対策委員会を中心にして更なる事故防止の徹底を行うことで、職員の意識向上、安全なサービス提供に繋がっている。 ○職員研修方法をマニュアル化することにより、フォローアップ体制も充実している。</p>																											

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8
		感染症への対策は適切に行われているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>看取り介護に対する体制整備については、ご家族のご意向確認のため、入所時に意向確認を書面で行い、嘱託医師の意見・指示のもと看取り対応とするか否かの説明をご家族へ行っている。看取りへの理解を深めるために内部研修を実施した。また、入所から数年以上過ぎていられる方もいるため「容体急変及び心停止・呼吸停止時の対応に関する意向確認書」の書面での説明及び意向確認を行った。</p> <p>利用者のご家族への情報提供として、毎月発行の「こだなか通信」を請求書発送時に同封している。入居者等のサービスへのアンケート調査の公表を館内に掲示している。</p> <p>地域交流として、新型コロナの影響はあったものの、例年とほぼ同じ延べ数の多くのボランティアの参加があった。他、地域に施設内スペースの開放、地域の祭りに参加する等、地域との関わり・還元することを大切にしている。</p> <p>感染症への対策においては、例年同様「手洗いの徹底」実技研修を実施。今年度は、新型コロナ対策として、ご家族様に当面の間面会を中止させていただくこととした。その期間、感染症予防委員会のメンバーにより各所チェックを行うことで衛生面の向上を図った。</p>					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	3	3
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>施設内消耗品の在庫管理が徹底できたことで、消耗品費用が抑えられた。また、排泄介助にあたり個々の入居者のパッドの適切な利用により、使用枚数も減少したと同時に入居者の不快感も減少させることができた。</p> <p>派遣人件費の圧縮から直接雇用への移行により、人件費の削減ができています。</p> <p>収入増加の取組みとして通所介護では、「デイサービスセンターこだなか通信」を活用しながら、新たな利用者の確保の為に、居宅介護支援事業とのつながりを持つことを基本にして信頼関係作りを努めた。</p> <p>施設には、出納職員、会計責任者を配置し、毎月本部の業務遂行監査を実施しており不適切処理がないかなど適正な管理を徹底。法人会議等においては、各サービスの利用統計等を毎月確認し、分析・課題抽出を含めて次月対応の周知を行うことで職員に意識させるよう心がけている。</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	4	8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	3	6
意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)					
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>平成28年4月運営開始より「褥瘡0」を掲げて運営している。褥瘡対策委員会による研修、ベッド上での適切な体位をカンファレンスで検討、医師の指示の下、個々の対応・基本的なケアの他、適切なトイレ誘導を行うことで、トイレを使用する利用者が増加、皮膚トラブルも減少して褥瘡予防にもなった。医療ケアの必要な方が増えている中で、褥瘡0の取組みについて適切なサービスを提供できている。</p> <p>ベッド柵に腕があたることでの皮下出血を防ぐために、手作りのベッド柵カバーを使用し10名以上の入所者に設置している。</p> <p>かわさき健幸福寿プロジェクトの1名(短期入所)が参加し、銀賞を受賞。</p> <p>業務改善の向上として、前年度の課題(情報共有が不十分)を受けて、昼礼での情報伝達を確実にスタッフに伝えていく仕組み作りや申し送り方法等、各種連絡事項を読んだらサインをすることを義務づけることにより情報が適切に伝わるようになった。</p> <p>お客様へのサービス改善を目的とした提案、季節感のある住まいを意識した環境の整備、居室入口、トイレ内の装飾を行っている。</p>					

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	4	8
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か			
実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。					
コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3	
	個人情報の管理は適切に行われているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>人員配置については、医療ニーズの高い方の受入れ可能な体制作りのため、看護職員を加配をしている。管理栄養士を配置し、栄養ケアマネジメントを実施している。</p> <p>安全管理については、平成30年度の死亡事故(入浴後の転倒)が発生した件において、川崎市の指導のもと、引き続き職員教育の徹底や浴室内の構造の改善など再発防止に向けた取組を行っている。事故発生時緊急マニュアル、入浴マニュアルの改定をした。他、適切な安全管理体制として新たに離脱防止指針をあげ、離脱時対応マニュアルを作成している。特に昨年も力を入れていたKYT(危険予知訓練)研修においては、「事故内容」「事故発生場所・時刻」「要介護度別」の分析と全スタッフへの周知を繰り返し実行した。</p> <p>職員教育・研修の実施については、前年度より多くの内部研修を実施した。職員研修方法をマニュアル化することで定着した。同じ研修を複数回することで多くの職員が受講が可能となった。研修の成果を参加していない者にも浸透させる手段を講じている。処遇改善として資格手当の増設(認定介護士・上級介護士・スマート介護福祉士)夜勤手当増額を行い職員のモチベーションアップに努めた。</p> <p>サービスにおけるコンプライアンスについては、虐待防止、感染症、身体拘束廃止等の各委員で「不適切ケアはないか」「利用者のニーズ」に適合しているかなどを検証し、毎月開催の運営会議、リーダー会議、ケア会議、全体会議で議論ができる場を設けている。</p>					
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	4	8
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>保守点検は、年間予定をもとに保守管理業者と適切に実施している。</p> <p>建物管理については、修繕リスクのあるものについては、情報提供を行い連携を図ることができている。</p> <p>業務日誌は、介護ソフトや独自の日誌との連動性を確認し、災害時などに迅速な対応ができるようにパソコン内及びサーバー内の決まったカテゴリーフォルダに保管、セキュリティー対策を講じて管理している。</p> <p>日常的に施設内の清掃、衛生管理に努めている。安全管理マニュアルを「見える化」にすることで少しの変化にも気付けるように心がけている。</p> <p>外構の樹木が近隣住民に迷惑が掛からないように、除草にも力を入れ、デイサービス前の花壇の整備及びゴーヤによる緑のカーテン作戦、剪定を行い植栽管理を実施、敷地内の美観向上に向けた対応を行った。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	74	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>利用者のニーズに合わせた介護サービスの提供、経費削減に向けた取組みは、職員が個々の入所者を把握できていることや、スキルアップの強化が繋がっているものだとわかる。職員教育・研修の実施は、利用者が安心して過ごしていただくための事故防止に向けた取組みであり、力を入れている。</p> <p>今後も引き続き、地域に根差して地域住民・ボランティアと良好な相互交流を展開し、地域コミュニティの拠点となる取組みに期待する。</p>

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし
